

セ ボ ネ

タガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2018.3 No.167

今月のトピック

特集●

地域の再生と新しいコミュニティづくりの記録
～『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』より

◎ 「世田谷ボランティア協会をささえる会」レポート
キラリ世田谷人 ● 栗野 宏文 さん



イラストレーション●すずき あさこ
雑誌、書籍等で挿絵やイラストエッセイを
描いています。
<http://inkpot.main.jp/saito/inkpot.html>

●わたしの世田谷
いつもの生活の中で、ふと特別なことが
起きたり、いつも歩く道で、新しい発見
をしたり。心落ち着くけど、いつまでたっ
ても飽きない、そんな街です。

地域の再生と新しいコミュニティづくりの記録 ～『まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～』より



善海田稲荷の二本の松(写真/青池組 facebook より)

2011年3月11日からまもなく7年。津波で壊滅的な被害を受けた宮城県石巻市の太平洋に面した門脇・南浜・雲雀野地区で、青池憲司監督（青池組）は震災後からカメラを回し、地域の再生と小さなコミュニティづくりのプロセスを撮り続けてきました。毎年1月に震災の記録映画を区内で上映し続けている「神戸をわすれない・せたがや」の第31回目の会で、青池監督の最新作『まだ見ぬまちへ』が上映されました。

日々のくらしを描く

神戸市長田区の野田北部・鷹取地区で1995年の地震後、地域と人びとの復興と再生の様子を撮り、14巻もの長編ドキュメンタリーを製作してきた青池憲司監督とスタッフ（青池組）は、3・11以後、石巻で撮影を開始。これまで宮城県の門脇小学校と周辺地域を舞台とした「子どもたち」が主人公の二作『3月11日を生きても』石巻・門脇小・人びと・ことば』、『津波のあとの時間割』石巻・門脇小・1年の記録』を世に出してきました。2012年の夏から1年かけて上映会を行い、一段落した2013年秋に、「大人たちはどうしているんだろう」と気になり、もう一度石巻に入り直し、2014年の3月11日から新たな作品を撮り始めました。映画はそれからの3年半を中心に、以前に撮っておいた映像を足した6年半の記録です。

時の流れとともに目の前に展開されていく映像は、見るほどに馴染みになっていく住民の方々と共有していくようで、2時間半はあつという間でした。青池さんは上映開始にあたり、こんなふうに話しました。

「2014年に再度撮影に入った時期は震災後4年目に入る時期でした。地震・津波のあとの3年は変化が激しく、風景も含めて被災地の世の中が動いていく時期ですが、4年目はある意味では一段落して、ガレキが片付き、更地の状態になった。風景はほとんど変化していかないし、人の心の揺れ動きも、ある程度落ち着いてきたまま、かなりの時間続いていく、そういう風の状態でした。『そういう時期に映画に何ができるか、何も起らないで映画になるのだろうか』と不安になりました。何も起らないけれど、少しずつ日々のくらしは過ぎていくわけで、そういう時間を



世田谷での上映会、青池監督が作品への想いを語った。

少しでもすくい上げることができたかな、と思っています。映画作品を完成させるには『起承転結』みたいな力学が働くわけですが、この映画は『結』がなくて『転転』みたいな…。東日本の震災からずっと地元でお付き合いしている、と、神戸と比べたら時間の量、ベクトル、質量がはるかに違う大きな出来事で、とても私一代では捉えられない要素があります。やっぱりプロセスを伝えるしかないという思いでまとめ、こういう映画なんだと少しずつ自分の納得がい

くようになってきたという状態で「す」

そのプロセスは映画を観ていたくしかありませんが、印象的だった場面をいくつか紹介する中で、想像し共感していただけたらと思います。

自然に始まった「まねきコミュニケーション」

津波が家屋も車もすべてを押し流し、門脇小学校の校舎に打ち付けたあの日、子どもたちも地域の人たちも「登れ！登れ！」の掛け声とともに日和山へのぼりました。3つの町1772戸のうち、家屋の大破流出をまぬがれたのはその山裾に建つ十数戸のみでした。人びとは直後から寄りあつて生活を始めます。

「この世の終わりかと思いました」と遠藤佳子さん。残った世帯にある食べ物を供出し、本間英一さんのテニスコート事務所にあつた

お米をみんなに分けて食べました」お年寄りが多いこの地区では助け合いが不可欠です。江戸時代からの湧き水をバケツリレーで運び、寒い時だったので外にかまどをつくってビニールで覆い、なんとか生き延びようと思案します。「街灯が点いた日、みんなを外に出しました。本当に明るいと思いましたがね」

自然に始まった寄り合いの場。遠藤さんは言います。「本間さんとはそれまであまり話したことがなく、『おはよう』くらいでしたけれど、今度のことです。絆が深まりました」コミュニケーションには「まねきコミュニケーション」という名がつけました。日和山の中腹に江戸時代からの「まねき所」という、旧北上川の河口を出入りする千石船に旗を振って航行の安全を指示した小屋があつたのです。「新しい人を招き入れ、人がどんどん増えて新しいまちになるように」との思いをこめての名前でした。



「かどのわき町内会」発足の記念撮影
(2016年6月)

風景が、環境が変わっていく

門脇小は140年の歴史がある学校。校舎の半分が焼けて今もそのままの状態です。残すか壊すかをめぐり、住民と行政が議論を続けています。居住不可地区となり原野と化した南浜、雲雀野には復興記念公園ができることになっています。その計画に住民の意見が反映させるためのワークショップが開かれました。子どもたちも含めたワークショップでアイデアを

出し、フィールドワークを行い、震災前の生活でなじんだ場所を歩きました。海の事故が起きないように祈る儀式の場だった「善海田稲荷」。「ぬれ仏堂」の仏様は津波で行方不明に。「海に帰られたのだ」と人びとは言います。環境デザインナーの阿部聡史さんが湿地を案内します。日和山からの地下水が溜まったところにはメダカが帰ってきています。

2015年3月11日は4回目の慰霊祭。356人が津波の犠牲となり、142人の行方がまだわかっていません。すべてが流されたあとの土から、かぼちゃとミニトマトの芽が自然と出てきました。それを見て、ならばできるだろうと、遠藤さんは自宅の庭で野菜づくりを始めます。じゃがいもやサヤエンドウを植えています。「見る景色が変わっていきいます。震災直後は海がこんなに近かったかとびつくりしましたが、今は見えるのがあたりまえです。でも防



復興住宅の集会所での餅つきには新旧の住民が集まった。餅のつき手が遠藤さん。

潮堤ができるとまた見えなくなってしまう。それが怖いようで」と遠藤さんは話します。

津波で流された門脇保育所の園長はこう語ります。「毎月避難訓練をしていました。門脇小が避難場所でしたが、山の上の石巻保育所の方が安全だからそっちへ、と子どもたちを抱えて登りました。お昼寝後の着替えをいやがる園児たちも、訓練の時は5分で着替えれます。自分のいのちを守ることを徹底しなくてはなりません」

15年の秋、復興公営住宅が2箇所に建ち、151世帯が入居する

ことになりす。復興住宅に入ってくる人々を仲間に入れてこそ本当の復興と考え、暮れのお餅つきには新しい住人の方々も参加。来られなかった人々たちにはつぎたてのお餅を配りました。16年6月には本間さんを町会長とする「かどのわき町内会」が発足しました。一度は更地になった土地も、人の手が入るようになると、湧水池に汚染が見られるようになります。

でも、今にも枯れそうな善海田稲荷の二本松の根元には若木が育ち始めています。



地域を見守るお地蔵さん

避難所や仮設住宅から人が戻ってきて、店が一軒もないのは困ると、この地域で震災後初めての

商店として、本間さんたちは日用雑貨を扱う「まねぎショップ」をオープンさせました。17年の夏祭りの頃には住民は175世帯350人へと増えました。地蔵講では副住職が「まちの中の思い出を保つて、地蔵とともに暮らしたことを伝えていってほしい」と語ります。

終わりのない「まだ見ぬまちへ」

上映後に参加者からの感想が寄せられました。震災後、神戸の長田神社前商店街の商品をカタログにし、全国から「買うことで街を元気にしよう」と、「寝ていてもできるボランティア」を発案した女優の黒田福美さんはこの映画でナレーションを担当。「監督は「起承転結の結がなくて」とおっしゃいましたが、『結』というのの後世の人たちが映像を通して『なるほど』と思う時なのではないかと思いました。神戸があったから、

ここにいらつしやるみなさんも、東日本、これから起こるかもしれない、まだ見ぬ被災地に思いを寄せるようになったのだと思います。映画の中から人の強さと優しさを感じさせていただきました」

昨年「セボネ7月号」にも登場した「エコロジカル・デモクラシー財団」を立ち上げた若者の一人、東工大の吉田祐記さんは「コミュニティを取り戻すことと、自然との関係を取り戻すということの構図が丁寧にはつきり見えて素晴らしいと思います。環境が変化する中で語られる茫漠とした不安の言葉から、海や川や山といった自然とどう付き合っていくのかを考えさせられました。まさにエコデモですね」と感想を述べました。コミュニティにはエンドがなく、プロセスがずっと続くということ、そのことが『まだ見ぬまちへ』というタイトルにこめられているのだと改めて気付かされます。

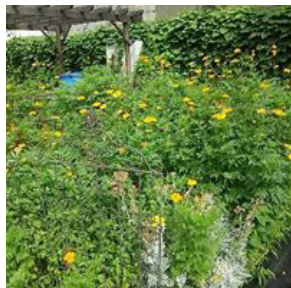
(取材／編集委員 星野弥生)

■監督のたつての希望で、神戸から上映が始まり、東京では3月5日(月)に「映画×トーク」の特別上映会があります。詳しくはP.15。

<http://aoikegumi.shinsaiatsu.com/>

「世田谷ボランティア協会をささえる会」レポート ささえる会の1年

日頃から世田谷ボランティア協会を支えてくださっている「ささえる会」のみなさん。会員同士の交流を深める企画ですが、一般の方も歓迎です。ぜひご参加ください。



←毎週土曜：みどり企画

下馬1丁目の畑で季節の花を育て、みどりをきっかけに地域のみなさんと交流しています。

11月干し柿づくり→

子どもたちも参加して皮むき、縄ない、吊るしの作業を行いました。恒例となったオレンジのカーテン。1か月後、おいしい干し柿ができました。



《今後の予定》

- 3/11 (日) 10:30 ~
おたがいさまフェスタ
喫茶コーナー出店
- 3/24 (土) 14:00 ~
みんなで勉強しよう会
『老い』に備える
老後のトラブルと予防法



←第3水曜：歌声ひろば

月1回、みんなで大きな声で歌います。声を出すと自然と笑顔に。どなたでも参加できます。(参加費 300円)

■「世田谷ボランティア協会をささえる会」に参加しませんか？

- *会員には本誌「セボネ」を毎月ご自宅にお送りいたします。
- *ささえる会案内リーフレットをお送りします。お電話ください。

☎ 03-5712-5101

【会費種別と年会費】

- *個人会員 1口2,000円
- *団体会員 1口5,000円
- *賛助会員 1口10,000円

※今月の「まちの市民力」はお休みします。



ファッションで元気に！

栗野 宏文さん
くりの ひろふみ

や
が
た
人
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介し
取材●星野 弥生

け、床ずれしな
いような服がで
きないだろう
か。「介護に役
立つ服」ではな
くて、「明るく
元気になるお
しゃれな服」を

ファッションが大好きで、通算40年間この道一筋の栗野さん。1989年に日本の代表的なファッション企業である「ユニテッド・アローズ」の創業に携わり、現在は同社のクリエイティブディレクション担当上級顧問として、ファッションを軸に社会、文化とさまざまな分野で発信し続けています。

栗野さんの「おしゃれ道」は「自己発見の手段の道」。着る服によって「自分がよくわかる、自分が元気になる、コミュニケーションが生まれる」というものです。ならば、寝たきりの人が気分が明るくなるような服、かわいいよだれか

つくろう、と2年かけて社内で実験をし、サンプルもできました。「健常者も着られる服」がコンセプト。「世の中から見てファッションにはいろいろなちからがあります。売れるものをつくるだけでなく、発想を転換したい。寝たままでも着替えられる服、というように」

このプロジェクトには障がいのある人、その家族といった当事者が加わり、「両者の創造性を連帯し、新しい価値をつくる」ことを目指します。「チャリティではなく、いろいろな専門家が手を上げ、知恵と予算もかけ、会社の勤務時間もあてて、ビジネスとしてやり

ます」この考え方は、ユニテッドアローズと国連がパートナーとなつているEFI（エシカル・ファッション・イニシアティブ）、すなわちアフリカなどの開発途上国でものづくりを通して持続可能な発展を支援するプロジェクトが提唱する「Not Charity, Just Work」というスローガンに通じます。一方だけでなく、生産者、売り手、買い手の三方がハッピーになる、というのがこれからの時代の価値観。

「われわれだっていつ車椅子生活になるかわかりません。障がい他人事ではないですよ。利潤追求だけでは関わる人間が幸せにはなりません。社会全体が元気になるなくては」とファッションの大きな可能性を栗野さんは語ります。これまでファッションの対象にはなりにくかった障がいや病気をもちた方々が「元気になる服」、今年の秋に予定される発売が楽しみです。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細はP10～15をご覧ください。

タリ映画を観る会
4/14～20
P15

ご近所カフェ～みんなで歌いましょう～
3/17(土) 13時～16時
代田ボランティアビューロー P14

校 part222
～
4

●小田急線沿線

- ☆ちょっと手伝って！ボランティア募集 詳細 P11
- ☆視覚障害のある方の調理サポート募集 詳細 P12
- ☆ふくしまっ子と外遊びボランティア募集 詳細 P12

てみよう、
命のこと」
坂区民センター
世田谷の会 P15

おたがいさまフェスタ 2018
3/11(日) 10時半～15時
世田谷ボランティアセンター P13

学習会「「若い」に備える
老後のトラブルと予防法」
3/24(土) 14時～16時
世田谷ボランティアセンター
世田谷ボランティア協会をささえる会 P14

NPO・市民活動相談
随時お問合せください(事前予約制)
世田谷ボランティアセンター P15

日本文化を愉しむ会
日本の歴史を学ぼう
3/23(金) 10時～12時
玉川ボランティアビューロー P14



OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

- ☆小1女子の付き添いして下さる方募集 詳細 P10
- ☆4才の女の子のリハビリボランティア募集 詳細 P13

●世田谷線沿線

- ☆ママレードづくりボランティア募集 詳細 P11
- ☆いずみ学級ボランティア募集 詳細 P12
- ☆中1女子の登校付き添いボランティア募集 詳細 P13

●東急線沿線

- ☆保育園からの迎えをして下さる方募集 詳細 P10
- ☆外国人のための日本語教室ボランティア募集 詳細 P11
- ☆お弁当の調理・配達ボランティア募集 詳細 P12
- ☆トイレ介助ボランティア募集 詳細 P13
- ☆おたがいさまフェスタボランティア募集 詳細 P13

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

優れたドキュメン
4/13 前夜祭、4
下高井戸シネマ

もっと語ろう不登
3/3 (土) 14時
NPO僕んち P1

公開座談会&交流会「聞いて
話してみよう、7年たった今
3/10 (土) 13時~16時 宮
福島子どもたちとともに・世田

し相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ポランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ポランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ポランティアセンター 担当 鈴木・青木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

ポランティア求む

東 玉川地域で保育園からの迎えをしてくださる方募集

世田谷区玉川に住んでいる3歳の女の子を保育園から家まで送ってくださる方を探しています。

体調が優れず、ご両親が保育園へお子さんを迎えに行くことが難しいため、火曜日の夕方、保育園から家まで送ってくださり、その後ご自宅ですばらくお子さんを見てくださる方を探しています。お気軽に性格のお子さんを。詳

しくはお問い合わせください。

●日時/火曜日の17時〜18時30分頃まで

●場所/保育園(玉川)から玉川のご自宅まで

●条件/女性
●問合せ/世田谷ポランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

個別の学習支援ポランティア募集

世田谷ポランティア協会では、小・中学生の個別の学習支援に取り組む、ポランティアを募集しています。

「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受けて、必要とする方にポランティアを紹介していま

す。学年や環境が変わる春は相談が増えるため、関心のある方はぜひ一度お会いして、お話ができればと思います。資格や経験は問いません。

●日時/週1回程度でご相談
●問合せ/世田谷ポランティアセンター 担当 鈴木・青木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

京 小学1年生女の子の付き添いをしてくださる方

脊椎の障害のため、学校での生活に支援が必要な子が、塚戸小学校に通っています。週3日は学校の支援員が付き添いますが、残り2日の授業中の見守りや教室移動の付添いなどがが必要です。

明るく人懐っこい性格でよく話をし、なんでも自分でやってみよう!とする女の子です。子どもを尊重して関わってくださる方を募集しています。協力者が1名見つ

かりましたが、まだ必要としています。お気軽にお問い合わせください。

●日時/火曜日・木曜日、8時20分〜14時半(応相談)

●場所/塚戸小学校

●条件/女性。謝礼あり
●問合せ/梅丘ポランティアビューロー

TEL 3420・2520
urbebor@otagaisama.or.jp

東 外国人のための日本語教室ボランティア募集

地域に暮らす外国人に日本語を教えるボランティアを募集しています。男女、年齢、資格、経験は問いません。

●日時/毎週木曜日 10時〜12時
●場所/世田谷ボランティアセンター

●ちよつとついでついで！～vol.2～放課後ちよつと手伝つて！

学生のみなさん！地域のみなさん！ちよつと手伝つてくれませんか？
おじいちゃん、おばあちゃんが暮らしている特別養護老人ホームでは、人手が足りなくて、手伝つてくれる人を探しています。学校の放課後にちよつと手伝つてくれませんか？

●内容/お風呂の掃除、おしぼりの準備、車いすの洗浄、お話し相手など

●日時/平日の15時〜18時の間の都合のつく時間(60分以上)
●条件/15歳以上の方。継続的に活動できる方(例えば毎週木曜日の16時〜17時など)
●持ちもの/上履き、制服でない汚れても良い服装
●申込み/各施設に連絡をして、説明などをきく日(オリエンテーション)を決めてください。

ター

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分
●問合せ/JCA玉川 三軒茶屋クラス 担当 塩田
TEL 3411・0448
<https://ameblo.jp/jcatanagahi/>

●活動先(施設名称・担当者・住所・電話・メール)
①喜多見ホーム(担当 野村)
喜多見7・20・26
TEL 5727・1161
nanzankai2@museoon.ne.jp

②博水の郷(担当 山本・坂井)
鎌田3・16・6
TEL 5491・0340
yamamoto@hakusunosato.or.jp

③砧ホーム(担当 高橋)
砧3・9・11
TEL 5429・6239
knutahom-mu@yator.jp

④エリザベート成城(担当 長田・新居)
成城8・27・24
TEL 3789・8100
elisabeth@yokufu1984.or.jp
●問合せ/せたがや介護普及有志の会 担当 鈴木
TEL 5712・5101

50代女性の自立生活訓練のボランティア募集

私は日野市にある多摩療護園という施設で暮らす52歳女性です。入所して11年程経ちますが、施設を出て世田谷区で暮らしたいと願っています。35年前に光明養護学校を卒業しており友人はたくさんいるのですが、経験が無いことから自立生活の訓練などに協力頂けるボランティアさんを急募しています。

まずは月1回程度で、時間等は

世

ママレードづくり お手伝い募集

NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブは、「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動しています。ウェーブでは、区内のあちこちから夏みかんをご寄付いただき、毎年この時期にママレードをつくり、活動資金の一部にさせていただきます。

今年も作業を行いますので、お手伝いをしてくださる方を募集します。短時間でもけっこうですので、おひとりでも多くの方がお手

応相談です。主に移動支援となりませんが、食事のフォローもお願いしたいです。私の夢に協力頂ける方の応募をお待ちしております。※詳細はお問合せください。

●日時/平日昼間で応相談。
●条件/女性。交通費支給、謝礼あり
●問合せ/自立生活センター HANDS世田谷
TEL 5450・2861

伝いくださると助かります。よろしくお願ひします。なお、お手伝いくださった方にはママレードを1個お持ち帰りいただきます。

●日時/3月8日(木)、16日(金)、22日(木)、30日(金)
10時〜15時頃
●場所/弦巻区民センター調理室
●申込み・問合せ/特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 担当 一宮
070・54457・7781

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。4月号掲載は3月10日(土)に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

東小

お弁当の調理・配達ボランティア大募集

食事が負担になったたご高齢世帯に、地域の主婦たちによる手作り弁当をお届けしています。ほっとする家庭の味のお弁当と、配達時のちよっとした会話とともに利用者の見守りも兼ねたこの活動は30年以上続いています。現在、調理と配達ボランティアを大募集中です！ぜひ一度見学にいらしてみませんか？

- 日時／①調理：平日8時～13時半頃 ②配達：平日10時半～13時半頃、または15時～17時頃
- 場所／食事サービスサポートセ

小

視覚障害のある方の調理サポート募集

「みんなの料理」は、視覚障害のある女性たちによる料理講習グループです。この活動を手伝ってくださるボランティアを求めています。すでに3名かかわってくださっていますが、もう1名募集しています。料理が好きな方なら、視覚障害の知識がなくとも大丈夫です。

- 日時／毎月一回、第4月曜日

ンターだんらん（世田谷区鎌田3・13-1）

- 交通／バス 成城学園前駅→二子玉川行「砧南中学校前」下車1分
- 募集人数／数名
- 条件／①調理：初心者でも大丈夫です。②配達：自動車普通免許、人と接するのがお好きな方
- 問合せ／老人給食協力会ふきのとう 担当 佐野
- TEL 3706・2545
- sano@mow.jp
- http://fukinotoh.mow.jp/

- 13時～16時
- 場所／砧総合支所区民集会所
- 交通／成城学園前駅徒歩5分
- 募集人数／1名
- 条件／料理に興味のある女性。食事代として1回500円が必要です。
- 問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 宮崎
- TEL 5712・5101

世東

**知的障がいのある人と一緒に活動しよう
いずみ学級ボランティア募集**

「いずみ学級」は、知的障がいのある人たちと、彼らを支え、共に遊ぶボランティアによって運営される学級です。1年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、キャンプ、スキーなどの活動をしています。

ボランティアは、学生や社会人、主婦など、若男女問わずさまざまな人たちが参加して活動しています。資格等は不要で、知的障がいのある人たちと関わることに興味のある方なら、誰でも参加できます。実際に参加している方の声

もホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。ホームページから、またはお電話にてお気軽にご連絡ください。

- 日時／原則として第1・第3日 曜日の10時～15時半（年22回）
- 場所／活動拠点は世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校。他に外出や宿泊行事もあります
- 条件／高校生以上
- 問合せ／世田谷区教育委員会事務局 生涯学習・地域学校連携課 いずみ学級担当
- TEL 5432・2733

小

ふくしまつ子と外遊び学生ボランティア募集

福島から子どもたちとその家族を世田谷に招待し、放射線量の低いところで思いっきり外遊びを楽しんでもらおう、という「ふくしまつ子リフレッシュin世田谷」の3月18回目となります。

砧公園や羽根木プレーパークで子どもたちと一緒に遊んでくれる学生ボランティアを募集しています。ぜひご協力をお願いいたします。詳細はお問合せください。

- 日時／3月30日（金）～4月3日（火）1日でも半日でも可
- 場所／砧公園・羽根木プレーパークなど
- 問合せ／福島の子もたちととも に 世田谷の会
- TEL 3327・7142
- (NPO 僕んち)
- fukusetatomoni@gmail.com
- http://sawefukukids.jimdo.com

世 中1女子の登校付添いボランティア募集

中学校1年生女子の、登校の付添をして下さる女性を求めています。朝7時40分頃、自宅に迎えに来ていただき、世田谷線山下駅から電車に乗り、下高井戸駅でお入り、近くの学校までの付添をお願いします。

学校に行くことが大好きな女の子です。電車での移動等に関し、サポートをお願いします。子どもが好きで理解がある女性のボランティアを募集しています。週1〜

2回でもお手伝いしていただくと助かります。

●日時/月曜〜水曜・金曜日の間で週1〜2回でも助かります。

朝7時40分頃〜(1回50分程度)

●交通/山下駅〜下高井戸駅

●条件/女性。交通費(世田谷線運賃)は依頼者が負担します。

●問合せ/梅丘ボランティアビュー

TEL 3420・2520

umebora@otagaisama.or.jp

京 4才の女の子のリハビリボランティア募集

脳に障害のある4歳の女の子が、ドーマン法というリハビリプログラムを実施しています。ドーマン法は脳の障害を治すためのプログラムでアメリカにドーマン研究所があります。手や足を動かす

パターンニングというリハビリがあります。大人3人の協力が必要になります。毎日数時間行うため、たくさんの方の協力が必要です。

複数の方が交代で協力してくださいますが、まだ人手が必要

です。週1回1時間でも、月に1回でも、ご協力いただける方はご連絡ください。

●日時/要相談

●場所/世田谷区粕谷1丁目

●交通/千歳烏山駅徒歩10分

●条件/子ども好きな女性、非喫煙者、交通費支給(上限あり)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 植田

TEL 5712・5101

ueda@otagaisama.or.jp

東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

●日時/火曜 12時40分〜13時

(頻度は応相談)

●場所/二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階

●募集人数/1〜2人

●条件/年齢・性別・資格不問。交通費応相談

●問合せ/玉川ボランティアビュー

TEL 3707・3528

講座・その他・募集

東 おたがいさまフェスタ2018

『おたがいさまフェスタ』は、三軒茶屋を中心に活動するボランティア活動団体やNPO、福祉施設など様々な人たちが集い、開催するお祭りで、16回目を迎えます。

パーム下馬にある『世田谷ボランティアセンター』『ケアセンターふらっと』『下馬福祉工房』が3所合同で開催します。ぜひ遊びにいらしてください。

当日のボランティアも募集中です！ お問い合わせください。

●内容/模擬店、ミニバザー、子ども服詰め放題バザー、手づ

くりクッキー教室(午前)、手づくり小物の販売、エコ工作

以顔絵、スタンラリー、防災放水体験、喫茶コーナー、ステージ、歌声ひるぼなど

●日時/3月11日(日) 10時〜15時(ボランティアは9時〜17時頃まで)

●場所/世田谷ボランティアセンター

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 代田ビューロー「ご近所カフェ」

代田ボランティアビューローでは、毎月第3土曜日に「ご近所カフェ」をオープンしています。

3月の企画は、「みんなで歌いましょう」童謡からポップスまでです。懐かしい歌、思い出の歌、お気に入りの歌をみんなで歌いませんか？ 楽しい時間をいっしょに過ごしましょう！ 楽器持ち込み参加も歓迎です。

●日時／3月17日(土) 13時～16時(出入り自由、申込み不要)

●場所／代田ボランティアビューロー

●交通／世田谷代田駅徒歩1分

●参加費／100円(茶菓代)

●問合せ／代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545

otaborara@otagaisama.or.jp

東 第2回みんなで勉強しよう会

『老い』に備える 老後のトラブルと予防法

子どものないご夫婦や障害者を抱えた家族、おひとりさまの「老いじたく」など、いろいろと生きにくい社会になっています。

ささえる会主催の第2回学習会では、講師に弁護士の中山二基子さんを迎え、「老い」じたくを考える糸口を学習会を開催したいと思います。

●日時／3月24日(土) 14時～16時

●場所／世田谷ボランティアセンター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●参加費／500円

●申込み／電話またはメールでお申込みください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会をささえる会

TEL 5712・5101

sasaerukai@otagaisama.or.jp

東

日本文化を愉しむ会 日本史を学ぼう
「日清・日露戦争と新たな世界秩序」

お茶や着付けなど、毎月さまざまなテーマで、「日本文化」を愉しむ会。今回は、文化の背景にある日本の歴史を学ぶ時間です。「日清・日露戦争と新たな世界秩序」をテーマに、歴史ボランティアの講師の話聞きながら、世界大戦に向かっていた空気を一緒に感じましょう。お茶を飲みながらのゆったりとした勉強会です。お気軽にご参加ください。お申込みをお待ちしています。

●日時／3月23日(金) 10時～12時

●場所／玉川ボランティアビューロー

●対象／日本の文化や歴史に関心のある方

●参加費／500円

●申込み／電話またはメール。3月20日(月) 締切

●申込み・問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tamaborara@otagaisama.or.jp

小京

「もつと語ろう不登校 part.2(2)」

これまで22年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／3月3日(土) 14時～

●場所／NPO 僕んち

●参加費／300円(カンパ歓迎)

●交通／梅ヶ丘駅、東松原駅徒歩10分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 高橋

TEL 3327・7142

世 公開座談会&交流会 「聞いてみよう、話してみよう、7年たった今のこと」

あのとときからもうすぐ丸7年が過ぎようとしています。福島で暮らしながら、保養などで子どもたちに放射能対策をしているみなさん。ぶくしまっ子リフレッシューin世田谷に参加されたご縁で、だんだんとながらも深まってきた。今回はそんな方をお招きして、日々思っていることを聞きながら、世田谷で迎える私たちの気持ちもわかちあいたいと思っています。

京世 優れたドキュメンタリー映画を観る会

34回目となるドキュメンタリー映画の上映会、今回で最後となります。4月14日から20日の朝と夜の7日間です。今回は「さよならさんかくまたきてしかく」と題して、15本の映画を上映します。上映作品等、詳細は劇場へお問合せいただくか、「下高井戸シネマ」で検索ください。

●公開前夜祭／「夜間もやってくる保育園」監督のトーク付き上映会（限定150席）

●前夜祭日時／4月13日（金）18時半開場、19時開演

- 日時／3月10日（土）13時～16時
- 場所／宮坂区民センター
- 交通／宮の坂駅
- 参加費／500円（お茶菓子付）
- *託児はありませんが子どもスペースを用意します。子連れOK。
- 問合せ／福島の子どもたちとともに・世田谷の会
fukuseta.tomoni@gmail.com

- 前夜祭料金／一般・学生1600円、シニア・障がい者・高校生以下1400円
- 日時／4月14日～20日 作品により開始時刻が異なります。
- 当日料金／一般1300円、学生1100円、シニア・障がい者・高校生以下1000円、会員900円
- 場所／下高井戸シネマ
- 交通／下高井戸駅徒歩2分
- 問合せ／下高井戸シネマ
TEL 3328・1008

映画とトークのコラボレーション
『東日本大震災から7年』

『東日本大震災から7年』いま、コミュニティのかたちを見つめるとき、人と家族が再生の拠り所としたのはコミュニティでした。復興まちづくりに求められたのも、コミュニティの在り方でした。東日本大震災から7周年をまえに、「住民主体のまちづくり」を実践する専門家と、石巻出身の作家の参加を得て、被災後の暮らしとコミュニティのかたち、そして、その新たな展開を考えます。

- 日時／3月5日（月）①13時半開場、14時上映、②18時開場、18時15分～上映
- 場所／なかのZERO視聴覚ホール（中野区中野2・9・7）
- 交通／中野駅南口徒歩8分
- 料金／一般1500円、学生1000円、高校生以下500円
- 問合せ／映画「まだ見ぬまちへ」の会
knoackita@gmail.com
http://soikegumihinsatsuhatsu.com/

東 NPO・市民活動相談「活用ください」

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団

- 体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。（相談無料。事前予約制）
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
TEL 5712・5101
（月曜・祝日休館）

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビルM1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

3月11日(日)恒例の「おたがいさまフェスタ」。ふらっと、下馬福祉工房のみなさんとともに、約20団体による出店で盛り上がります。ぜひお出かけください！

◆ふらっと&withより

先日の大雪は、車いすや杖のユーザーさん泣かせてでした。でも、もう少しの辛抱ですね。空の雲や木を見て下さい。春がすぐそこまで来ています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

1998年の24時間試行ダイヤルから20年がたちました。公開講座の内容をもとにまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』を発行します。20年経った今も変わらず、子どもの気持ちに寄り添う大人がいます。

編集後記

- 石巻・新門脇地区のまちの人びとの、復興への確かな歩みと日々の暮らしの積み重ねが描かれています。『まだ見ぬまちへ』ぜひ一度ご覧ください。
- 平昌五輪、たくさんの感動をもらいました。月並みですが、あきらめずに、壁を超える強さに心動かされました。次はいよいよ東京ですね。
- 4週間で開脚できるようになるという話題の本を買ったまま早1年。再チャレンジ！(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

